

## 工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

※今回掲載している工事事故事例(別紙)は、4件分です。5件目の事例(別紙-5)については、原因・対策等を調査中のため、未掲載です。

### 【工事事故(速報)発生状況】 (H26.10.31現在)

	10月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成26年度(今年度)	5件	32件	2人	14人
平成25年度(昨年度)	8件	77件	11人	32人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

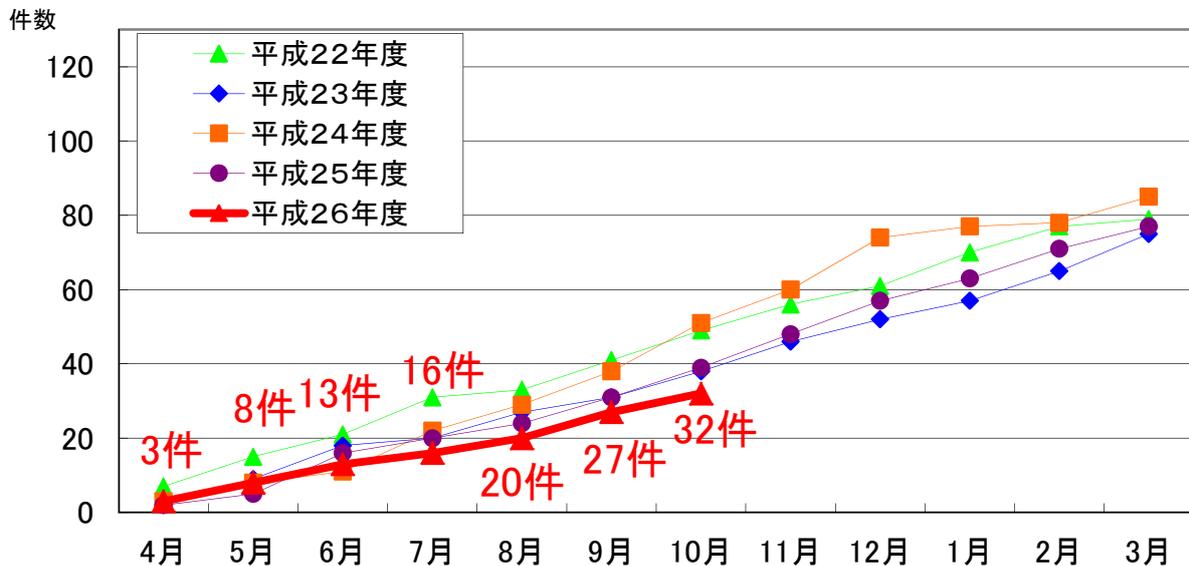
注2) 「10月発生件数」は、10/1～10/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

注5) 平成26年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

### ●工事事故件数



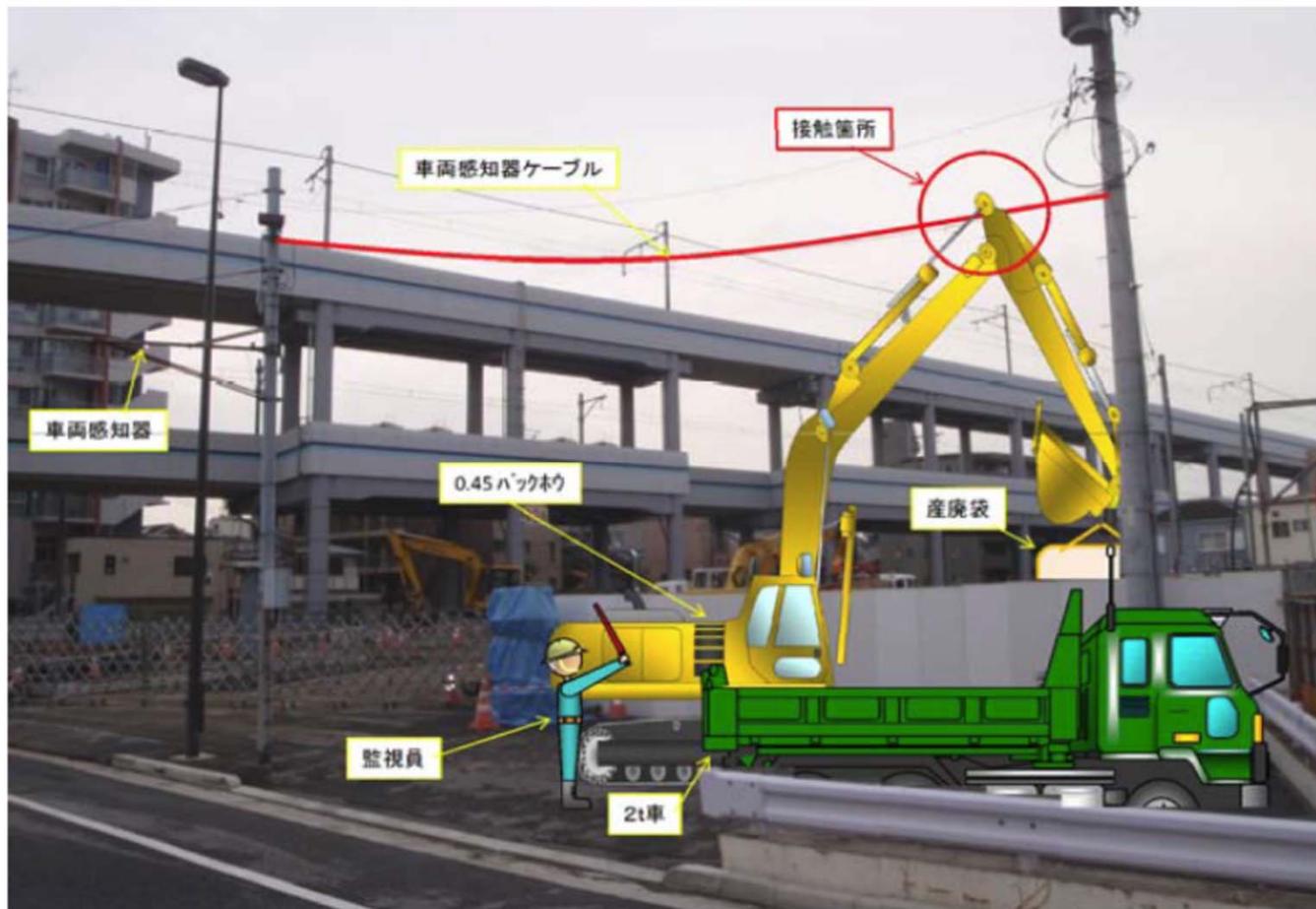
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成22年度 累計 (月毎)	7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	65件 (8件)	74件 (9件)
平成24年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	11件 (3件)	22件 (11件)	29件 (7件)	38件 (9件)	51件 (13件)	60件 (9件)	74件 (14件)	77件 (3件)	78件 (1件)	85件 (7件)
平成25年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	5件 (3件)	16件 (11件)	20件 (4件)	24件 (4件)	31件 (7件)	39件 (8件)	48件 (9件)	57件 (9件)	63件 (6件)	71件 (8件)	77件 (6件)
平成26年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	13件 (5件)	16件 (3件)	20件 (4件)	27件 (7件)	32件 (5件)					

※なお、平成21年度工事事故より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。



発生日時	平成 26 年 10 月 1 日 (水) 11 時 40 分				
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	—	—	—	警察管理の車両感知器架空線切断	
事故概要	現場内の産廃袋を搬出するため、バックホウで吊り上げ、トラックに積み込む作業を行っていた際、警察管理の車両感知器用の架空線を切断したもの。				
	公衆損害—架空線・標識等損傷				

## 事故発生状況



- ・資材置き場の奥にある産廃袋を搬出するため、移動させようとしていた。
- ・産廃袋が奥まった場所であり、施工ヤード内の整理が出来ておらず、施工ヤード内での作業ができなかったため、フェンスの外からフェンス越しにバックホウを用いて産廃袋を吊り上げた。
- ・駐車していたダンプトラックに積み込みをしようと旋回したところ、アームの一部が車両感知器の架空線に接触し、切断した。

### 【事故発生原因】

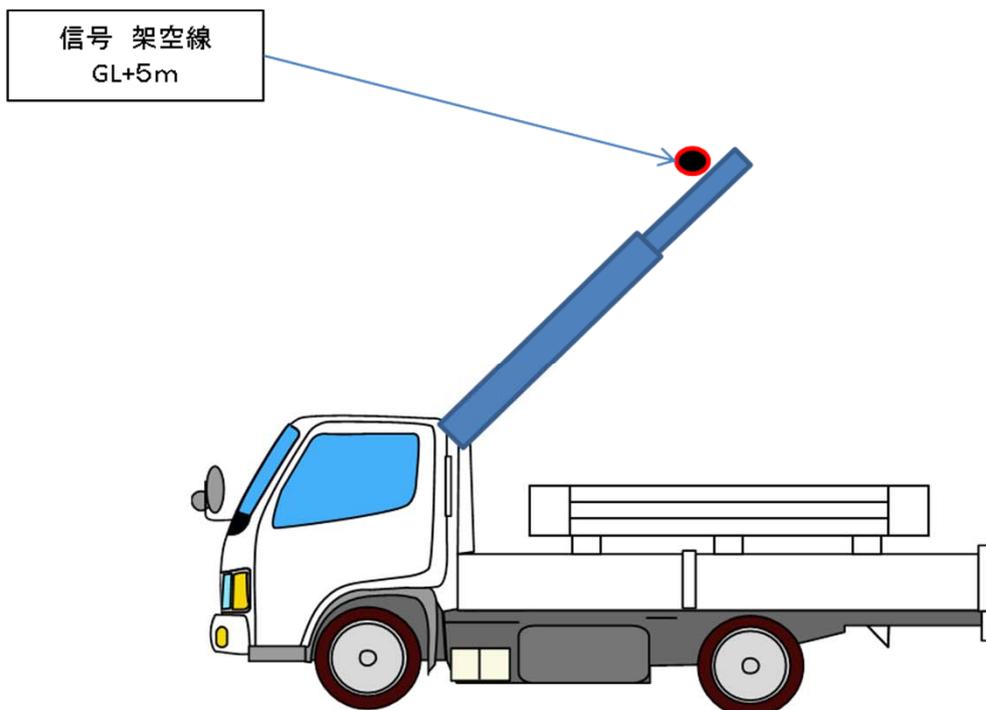
- ・施工ヤード内の整理整頓不足  
など

### 【事故防止のポイント】

- ・施工ヤード外で作業を行うことがない  
ように整理整頓を行う  
など

発生日時	平成 26 年 10 月 15 日 (水) 11 時 30 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	信号機用架空線切断(信号機5基不点灯)
事故概要	2tユニック車で置き式ガードレールを資材置き場から現場へ運搬する際、ユニック車のブームを上げたまま走行し、信号機用架空線に接触、切断したもの。			
	公衆損害—架空線・標識等損傷			

## 事故発生状況



- ・資機材置き場で置き式ガードレールを2tユニック車に積み込んで、現場へ運搬していた。
- ・積み込み完了後、ユニック車のブームを下げるのを忘れて、そのまま公道を走行し、途中に張られていた信号機用の架空線に接触、切断した。その影響で感应式信号機5基が不点灯となった。

### 【事故発生原因】

- ・ブームを上げたまま走行  
など

### 【事故防止のポイント】

- ・建設機械を移動する際は、必ずブームや荷台を下げるよう周知徹底する  
など

発生日時	平成 26 年 10 月 24 日 ( 金 ) 13 時 30 分			
工事情報	道路系事務所 As舗装工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	一般車両2台損傷
事故概要	交差点拡幅工および路床置換工に伴う掘削作業を行っていたところ、信号車両感知器が柱ごと転倒し、交差点に停まっていた一般車両2台に接触、損傷させたもの。			
	公衆損害-第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

## 事故発生状況



・交差点拡幅工および路床置換工に伴う掘削作業を行っていたところ、警察所有の車両感知器および二輪車専用押しボタン付きのコンクリート柱を転倒させた。

・転倒したところ(交差点)に、一般車両(4t貨物車、普通乗用車)が停車しており、接触し、損傷させた。

### 【事故発生原因】

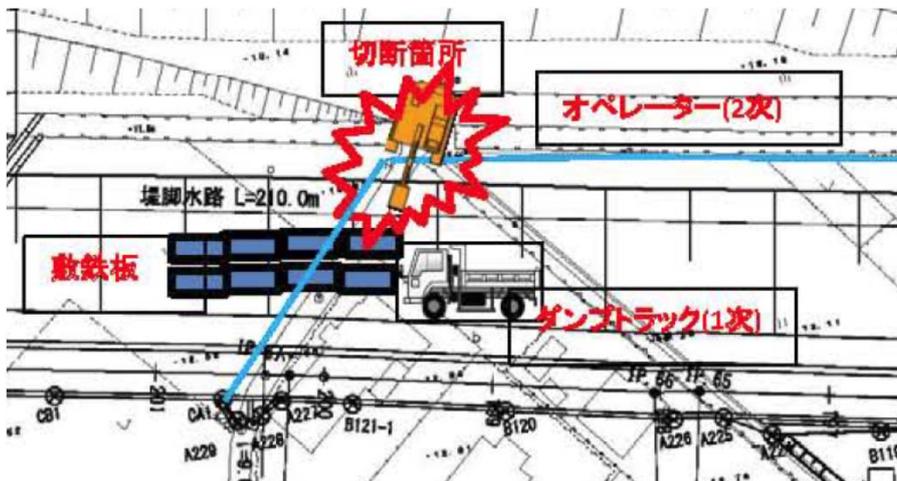
・柱の転倒防止対策を講じていなかった  
など

### 【事故防止のポイント】

・掘削範囲に既設構造物が近接している場合は、その影響をよく検討し、必要に応じて、対策を講じる  
など

発生日時	平成 26 年 10 月 30 日 ( 木 ) 10 時 30 分			
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	NTT架空線切断(2軒不通)
事故概要	堤防法尻の管理用道路の表土はぎ作業を行っていたバックホウのアームがNTT架空線に接触し、切断したものの。  公衆損害—架空線・標識等損傷			

## 事故発生状況



・堤防法尻の管理用道路の表土はぎ作業をバックホウにて実施していた。

・作業中に、バックホウオペレータが、付近に敷設していた敷鉄板がずれている旨の連絡をダンプトラック運転手から受けたため、敷鉄板のズレを直すために慌てて移動したところ、NTT架空線にバックホウのアームが接触し、切断してしまった。

・架空線切断により、民家2軒が不通となった。(約5時間半)



### 【事故発生原因】

- ・架空線に関する注意不足など

### 【事故防止のポイント】

- ・架空線等上空施設付近で作業がある場合は、架空線等の存在や位置を明示する目印等を設置する など